

令和6年度仮置場実地訓練報告



令和6年10月25日（金） 10：30～15：35

於：宮城県岩沼市下野郷字浜243-61

主催：環境省東北地方環境事務所/宮城県

請負者：一般財団法人日本環境衛生センター（JESC）

宮城県岩沼市における災害廃棄物仮置場実地訓練 次第

- | | | |
|------------------------|-------------|--------|
| ① 開会あいさつ（環境省東北地方環境事務所） | 10:30~10:35 | (5分) |
| ② 実地訓練事前ブリーフィング | 10:35~10:50 | (15分) |
| ③ 敷鉄板設置のデモンストレーション | 10:50~11:00 | (10分) |
| ④ 仮置場の設置訓練 | 11:00~12:00 | (60分) |
| (昼食休憩 40分 12:00~12:40) | | |
| ⑤ 仮置場の管理運営訓練 | 12:40~14:30 | (110分) |
| (休憩 20分 14:30~14:50) | | |
| ⑥ 保管物管理訓練（搬出訓練） | 14:50~15:10 | (20分) |
| ⑦ 全体の振り返り・講評 | 15:10~15:30 | (20分) |
| ⑧ 閉会あいさつ（宮城県） | 15:30~15:35 | (5分) |

① 開会あいさつ

時間	内容
10:30～10:35 (5分)	環境省東北地方環境事務所 あいさつ 資源循環課 課長補佐 小池 源一氏



② 実地訓練事前ブリーフィング

時間	内容
10:35～10:50 (15分)	本日の訓練概要を説明 ・「仮置場での作業は経費が発生する作業であり、不適切に行うと後工程で負担が増加すること」 ・「自治体職員の精神的・肉体的負担が大きくなるのは仮置場であること」等の心構えに留意 日本環境衛生センター 事業推進役 鈴木 弘幸



③ 敷鉄板設置のデモンストレーション

時間	内容
10:50～11:00 (10分)	仮置場において必要となることの多い鉄板を敷く作業を実演し、実際に仮置場を開設・運営する際の参考とした。 本訓練では、1500×6000mm×厚み:22mm（約1600kg）の鉄板を1枚設置した。1枚設置するのにおおよそ3分程度の時間がかかった。



図 1 敷鉄板の設置①



図 2 敷鉄板の設置①

④ 仮置場の設置訓練

時間	内容
11:00~12:00 (60分)	<p>①「設置前」の更地の状態で写真撮影を実施</p> <p>②レイアウト（後掲）をもとに、グループごとに仮置場を設置。</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的には、ブルーシートの敷設、カラーコーンやコーンバーを用いた仕切りの設置、立て看板での分別明確化等 <p>③「設置後」の様子の写真撮影</p> <ul style="list-style-type: none">・工事用黑板等を用いて、日付、品目等が分かるように実施。 <p>④設置後、レイアウトや設置方法等、気づいた点を意見交換し全体で共有した。</p>

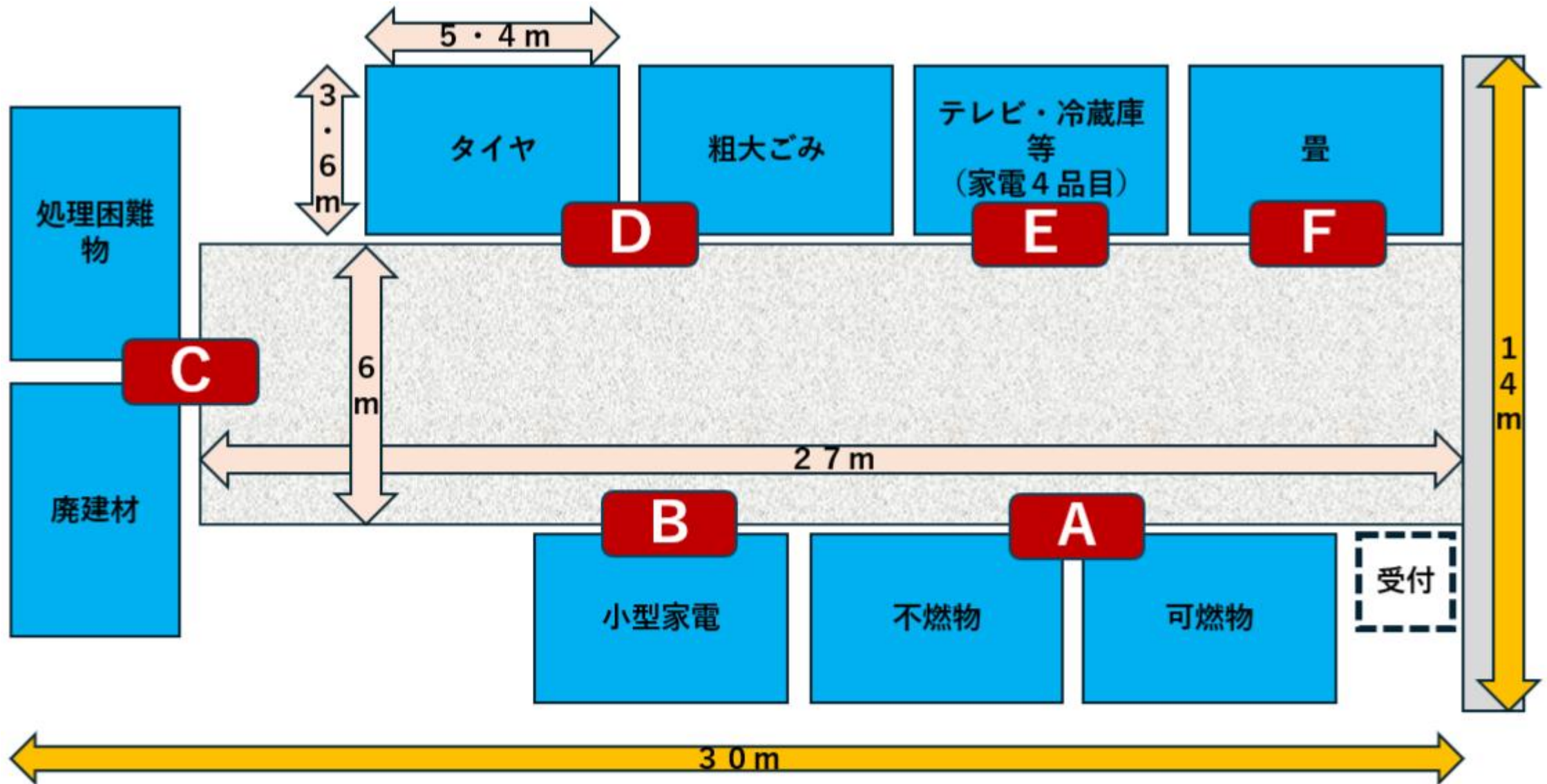


図 3 設置前撮影①



図 4 設置前撮影②

当日の仮置場レイアウト



④ 仮置場の設置訓練



図5 仮置場資機材



図6 仮置場の設置①



図7 仮置場の設置②



図8 仮置場の設置③



図9 黒板に品目・日付を記入

⑤ 仮置場の管理運営訓練

時間	内容
12:40～14:30 (110分)	<p>①軽トラックで模擬ごみを搬入し、受付、車両誘導、分別荷下ろしの訓練をグループごとに実施。</p> <ol style="list-style-type: none">1.乱雑に混載したごみ（ブラウン管テレビ、生ごみ含む）の持ち込み2.整然と積載されたごみ（不適切な疑いのあるものは含まない）の持ち込み3.乱雑に混載されたごみを強い姿勢で持ち込む住民対応4.単種類のごみだけを積載した持ち込み軽トラがそれを追い越していく



図10 搬入受付対応①



図11 搬入受付対応②

⑤ 仮置場の管理運営訓練



図12 場内誘導



図13 分別対応



図14 荷下ろし対応①



図15 荷下ろし対応②



図16 生ごみ持ち込み対応

⑤ 仮置場の管理運営訓練

時間	内容
12:40～14:30 (110分)	<p>②「太陽光パネルが持ち込まれた場合」を想定し、どのように受け入れればよいかを、実際のパネルを使って実演する。</p> <p>具体的には、「必ずゴム製等の手袋を装着する」「発電しないよう裏向けるかシート等をかぶせる」「配線コネクタをすべて抜く」などの一連の対応を示す。</p> <p>一般社団法人 太陽光パネルリユース・リサイクル協会 事務局長 細田 雅士氏 株式会社宮城衛生公社 専務取締役 渡邊 博康氏</p>



図17 廃太陽光パネルの説明

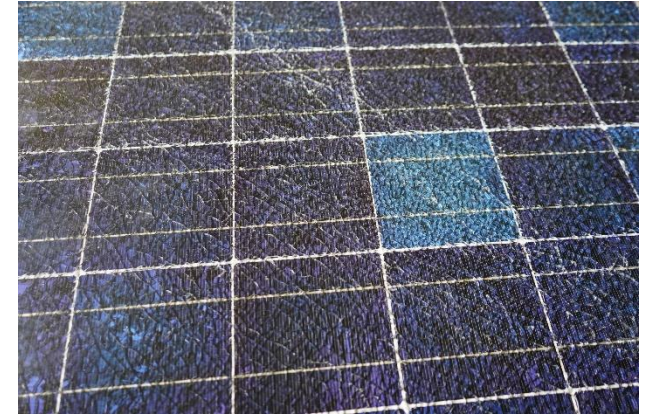


図18 廃太陽光パネルの保管方法について

運営管理にかかる留意点

◆太陽光パネルが持ち込まれた場合の対処法

- ① 受入前に仮置場にパレットを敷き並べ、パレット上に積む
※仮置場から搬出する際、フォークリフトでトラックへ積み込むことと、仮置き場での作業量を減らし迅速な搬出のため
 - ② パレットへ積み重ねるパネルは20枚まで
※トラックへ積み込み輸送する際に20枚以上だと荷崩れするため
- 積まれたパネルを積み込む前に、結束バンドやラッピング材で荷崩れ防止策を施す
- ③ パネルを積み上げる際、ガラス面を下向きに積む
※保管中の発電防止
 - ④ 1パレット20枚で積み上げた後に、できれば遮光製のシート若しくはブルーシート等で覆い、飛散防止のために枕木等を載せる



ヒビが入った太陽光パネル面。
水が浸透しやすい



発電を防ぐため、ガラス面を下向きに積む（写真は悪い例）

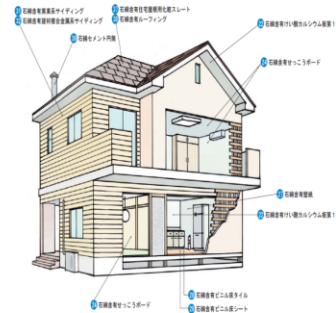
⑤ 仮置場の管理運営訓練

時間	内容
12:40～14:30 (110分)	③「廃棄物の山の温度管理」「アスベスト等を含む粉じん対策（水まきの徹底）」等の留意事項について説明 日本環境衛生センター 事業推進役 鈴木 弘幸



運営管理にかかる留意点②

◆石綿含有の疑いがある災害廃棄物の適正な飛散防止対策



【軒天】石綿含有建材の一例。

外見では石綿含有の判断できないケースがほとんどである。

出典：国土交通省「目で見えるアスベスト建材（第2版）」

①スレート類や各種成形板等の建材については、石綿含有の疑いがあり、隔離や散水などによる粉じん飛散防止の措置を実施する
→環境省「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル（第3版）」を参照

②2006年9月以降に着工した建築物等には、石綿は含有していないと判断できる

⑥ 保管物管理訓練（搬出訓練）

時間	内容
14:50～15:10 (20分)	<p>①災害廃棄物の受入れを終了したと仮定し、各ヤードに飛散防止ネットをかぶせる。</p> <p>②アイアンフォーク付きバックホウで搬出トラックへの積み込み作業を行う。</p> <p>③積み込みが完了した時点で、積み込み完了した写真を、工事用黒板を使用して撮影する。</p> <p>④積み込み終了後、搬出車両が処分場に向けて出発する（敷地内の移動のみ）</p>



図19 飛散防止ネットの設置



図20 重機による災害廃棄物の搬出

⑦ 全体の振り返り・講評

時間	内容
15:10～ 15:30 (20分)	①グループごとに、本日の訓練全体の振り返りや気づきを、5分程度で議論し、その結果を共有した。 ②講評者から全体の講評をした。 講評者：日本環境衛生センター 専務理事 坂川 勉 日本環境衛生センター 事業推進役 鈴木 弘幸

参加者コメント（一部抜粋）

- ・人員不足が予測されるため、予測して対応すること、そして平時の備えが改めて重要であると感じた。
- ・住民に対してあらかじめ分別をするように周知をしなければならないと感じた。
- ・仮置場の運営は業者の方々が主体になるため、平時からコミュニケーションをとり、役割分担を把握する必要がある。

⑧ 閉会あいさつ

時間	内容
15:30～ 15:35 (5分)	宮城県 あいさつ 環境生活部廃棄物対策課 課長 酒井 健二氏

